

令和2年度 第3回 特別史跡熊本城跡保存活用委員会 議事録

日時：令和3年(2021)3月24日(水) 14:00～16:00

会場：熊本市役所 14階大ホール

出席者：伊東(龍)委員長、伊東(麗)委員、河島委員、西嶋委員、服部委員、廣瀬委員、毛利委員、山尾委員、山田委員

熊本県文化課：帆足主幹・能登原参事・木村参事

欠席者：坂本委員、永田委員、松田委員

事務局：文化市民局：井上局長

文化財課：北野課長、小関副課長

観光政策課：住谷課長

熊本城総合事務所：網田所長、津曲首席、濱田副所長、岩山副所長、古賀技術主幹、戸高主査、友枝主査

熊本城調査研究センター：渡辺所長、坂本副所長、美濃口主幹、金田主査、林田主査

他

次第 1	開会 局長挨拶
井上局長	<p>本日はお忙しい中お集りいただきありがとうございます。本委員会も今年度これが3回目です。年度末の慌ただしい中にお集りいただきました。</p> <p>思い返せばこの1年間、コロナ禍にありまして当委員会の運営非常に厳しいものがありました。伊東委員長はじめ委員の皆様には大変な委員会の運営にご苦労いただきました。まことにお詫びとお礼申し上げます。</p> <p>昨年は、1回目が7月に遅れて始まりました。2回目を11月に行って、年明け早々に緊急事態宣言ということで、非常に我々も身動きがしづらい状況でございまして、こういった年度末のさなかに3回目の開催となりました。</p> <p>本日は市議会も先ほど終了したところございまして、まだ私も公務がございましてご挨拶のあと退席させていただきますけれども、皆様方には前回同様に、活発なご意見・ご議論をいただき、今年度最後の委員会を締めくくりたいと思います。</p> <p>皆様方からいただいたご意見等につきまして、私の方は事務局からしっかりと報告を受けまして、検討させていただきたいと思っています。</p> <p>今日もたくさんの審議ございますので、私の挨拶は簡単にさせていただきます。皆様方には忌憚のないご意見をいただきますとともに、この1年間ありがとうございました。</p>

	<p>また来年度以降も委員をお受けいただく皆様にはよろしくお願ひし、挨拶に代えさせていただきます。</p> <p>本日はよろしくお願ひいたします。</p>
--	---

次第 2	前回委員会の主な意見
伊東(龍)委員長	まず、次第 2「前回委員会の主な意見」を資料 1 に基づいて事務局から説明をお願いする。
事務局	(資料 1 説明)
伊東(龍)委員長	資料 1 をご覧いただきご発言いただいた委員の方々のコメント、回答・対応についてご意見・ご質問ございましたら発言をお願いする。
委員	(発言なし)

次第 3	報告
報告 1	今年度の取り組み状況について
伊東(龍)委員長	次に、次第 3 の報告 1「今年度の取組状況について」、資料 2-1 と資料 2-2 続けて、事務局より説明をお願いします。
事務局	(資料 2-1、資料 2-2 説明)
伊東(龍)委員長	「1) 今年度の取組状況について」資料 2-1 と資料 2-2 の報告があった。委員から意見・質問等があれば発言をお願いする。
毛利委員	<p>今説明があったように、私達が一安心したのは資料 2-2 の⑨、清爽園の記念碑が熊本地震でずれていたのを、何回かこの委員会でも申し上げましたけれど、やっと修復ができて、私達はあそこで子供達が遊んでいたの、トラブルが起きたり、記念碑がずれ落ちたりして怪我でもしないか大変心配していました。幸い何事もなくて、良かったと思います。</p> <p>今説明があったように、合同庁舎跡地にいろんな保管庫を造ったり、石を置いたりされますので、危険がないように行政で気を付けてやっていただきたい。</p>
服部委員	<p>天守が 3 月 24 日まで工事で、エレベーターの写真がついているが、これは停電があったときに、一番上までエレベーターを使うような階段昇降が出来ない人が、一番高い階に行った段階で停電になった時の避難路とかを想定しないといけないと言うのを聞いたことがあるんですけど、それがどうなのか。それがまず一点と、馬具櫓ですけど、一本足で 5 年間建っていて、外から見るとしなっているような気がする。保管庫に置いた場合に全部の材が利用可能なのか。</p>

事務局	<p>1 点目のエレベーターの避難計画のお話でございますけど、今回いままではございませんでしたけれども、エレベーターとか階段周りに堅穴区画という形で、どこかで火災が起きたとしましても煙等が入ってこないように区画をしております。その一部に車椅子の皆様等が避難時に待機ができる場所というのを備えておりますので、あとは運営スタッフで、有事がありました時も避難のやり方とか、補助の仕方だとか、しっかりとレクチャーさせていただいて、もちろんご自分で降りることは難しいところがございますので、スタッフにしっかりと教育をしながら、安全に下までご案内する形で進めたいと思います。</p> <p>2 点目、馬具櫓の方ですけれども、これまでも解体保存工事というのをいくつかやってきております。解体をして、その上でなければ何割ぐらいの材料が再利用できるか、というのはなかなか見えないところでございますけれども、一旦すべて番付をしながら解きまして、専門の皆様に見ていただきながら、馬具櫓は繕いをしながら元の部材の方はできるだけ使うことになっています。</p> <p>どれくらい使えるかというのは、今の時点ではお答えできないのですが、解体を進める中で見えてくると思っています。</p>
服部委員	<p>助けが来るまでの避難場所を確保して、みんなで降ろそうということですね。</p> <p>馬具櫓の方は現在の目視では判断できない。実際に解体しないと分からないということですね。</p>
西嶋委員	<p>合同庁舎跡の暫定利用のお話が出ていますが、当然限られたスペースを暫定的に上手に使っていかざるを得ない。ある程度進み始めて、我々は説明を受ける。個人的にはここからの熊本城の景観というのは相当重要な場所で、合同庁舎が建っている間は気づかれない場所でした。桜橋を渡ってこの地に入ったときの熊本城の景観というのは相当重要なポイントだと私は認識しています。ただ限られた場所でプレハブの設置場所を選定せざるを得ない。まず全体の計画を示していただきたい。このあともこのような事例が出てくるのか、出てこないのか。その時だけ、その場からの説明では見えてこないもので、2038 年までの道のりを作ってあるわけですから、そうなるプレハブを設置するスペースが必要になってくる時間軸・タイミングが分かるはずで、全体計画の中でどこがどういう風に設置占有されていくのか、まず全体像を示していただくことが重要で、それが示されれば我々も理解がスムーズに進む。今後そういう説明を我々は</p>

	していただきたい。
事務局	<p>20年の復旧基本計画の中で20年間のスケジュールが出来上がっていきまして、基本的にはそれに従って進めているところです。</p> <p>石置き場と、それから今おっしゃいました部材置き場両方が必要になります。</p> <p>石置き場につきましてはあらかじめ計画が見える形で、続いているものもございます。櫓の復旧にあわせてどのあたりにどういった部材保管庫が必要になるか、すべてが言えるかどうかわかりませんが、できるだけわかりやすい示し方ができないか検討してみますので、またお返事させていただきます。</p>
服部委員	合同庁舎の場所は史跡外ですか。
事務局	史跡内です。
山田委員	<p>今のご指摘にあったような、われわれは全体計画が頭に入っているわけではないですが、現状の復旧が順調なのか、早いのか遅いのか、思いがけない事態があるのかなど、正直わからないのが印象。現状の評価を聞きたいのが1点。</p> <p>あと調査研究センターの方で作成の『復興熊本城』は4号ということで我々も拝見してますけど、新しく天守閣常設展示図録というのが今度作られて販売もなさる。これはおそらく当面はそのまんま売られ続けるでしょうが、これが本として作られたのか、図録としていわゆる行政資料的な形で頒布するのか、それともISBNをとった本として売するのか、教えてほしい。本として売らるなら、いろんな販路で、ここに来なくても、例えばアマゾンでも売れるわけですよ。いろんな情報発信の仕方・選択肢が増える。私も美術館でいろんな図録作りしましたが、ISBNをとって本として売ってるところはあまりない。私も作ったことない。作ったところは普段美術館博物館とかに興味がない人でも引っかけられて購入する機会もあって。どういう形で作ってあるのかお聞かせ下さい。</p>
事務局	<p>スケジュールに関しては、20年という計画の中で今進めておりますけども、特にこの部分が遅れているところがあるわけでもなく、また進んでいるところがあるわけでもなく、計画に基づきながら一步一步着実に進んでいる状況にあると思っております。できるだけ遅れが発生しないように、早目早目に文化財修復検討委員会の方に審議をかけたか、文化庁とも早めに相談をして遅れが発生しないように努めています。</p> <p>図書に関してはセンターから説明します。</p>

	<p>図録に関しては後程触れようと思っておりましたが、今日お配りしております資料4-2に一部記載しております。資料4-2 4その他 天守閣完全復旧記念熊本城天守閣常設図録 こちらに書いております。</p> <p>定価は本編が1300円+税で、さっきお尋ねがありましたけどもISBNをとって、一般の図書で一般販売する図書となります。県内の書店等で一般販売予定であり、インターネットでも一部購入ができます。販売開始予定は4月26日からとしております。A4判で112頁程度の図録となります。</p>
服部委員	<p>さきほど質問しましたが、この図面の線引きが特別史跡の線引きに入らなかったのが質問しました。現状の線引きと違うみたいですよ。</p>
西嶋委員	<p>関連で、JT跡地もNHK跡地も特別史跡ですよ。そういう観点から言うと、三の丸第2駐車場は特別史跡になっていない。特別史跡にどうしても資材置き場を設置しなければならない場合があるでしょう。この線引きを見ると、特別史跡に指定されていない場所の選択肢もあったんじゃないかな。後から言われると思うところが出てくるので、先ほどの繰り返しになりますけど、全体像を最新の資料に基づいて説明していただきたい。服部委員もそういうことで気になられたと思います。</p>
事務局	<p>次回お示ししたいと思います。</p>

報告2	天守閣・長塀屋外照明改修計画について
伊東(龍)委員長	報告「天守閣・長塀屋外照明改修計画について」事務局より説明をお願いします。
事務局	(資料3説明)
伊東(龍)委員長	説明いただいた資料を踏まえて、ご意見・ご質問等があれば発言をお願いいたします。
西嶋委員	天守閣と長塀前の照明の入札は終わったのか。
事務局	天守閣は終わった。長塀はまだ。
西嶋委員	そういう状況でどんどん進んでいる。実は去年の11月の委員会で都市デザイン室の方で夜間照明に関する事を詰めていたので、是非こちらにおかれても勉強していただきたいと発言させていただいて、しっかり連携していきますという話だったので安心してた。今日の資料は光のマスタープランとそれ以外の資料が混在している。こ

	<p>れではどれが光のマスターか、そのあと熊本城総合事務所で作られたのかわからないが、なにをどういう風に作られたのかが、皆さんには伝わっていない。説明としてはまず、光のマスタープランをきちんとご説明いただいて、それを受けてどういう風に検討してきたかを説明していただかないと。今日の説明は混在していて、どこでどうなっているのか、我々には理解できない。みなさんご存じない事です。</p> <p>私はたまたま聞いたので、2月の中旬パブリックコメントに来てましたけども、光のマスタープラン自体も相当熊本城のボリュームが大きいプランになってまして、私見てびっくりしたんですよ。ここまで踏み込んで熊本城だけでなく各商店街とか、相当踏み込んで、民地にもこういうのつけたらどうですか、というところまで踏み込んだプランになっていて、これマスタープランなのかな、とびっくりしたんですよ。どうも地域と連携した痕跡がない。毛利さんとかにお聞きすればわかるかもしれませんが、せつかく新年度経済観光局から文化市民局に移ってきて、昨年しっかり連携して下さいとお話もしている中で、なんか置いてきぼりにされている部分があるんじゃないか。今の説明を聞いていると、どんどん先に行かれていて。これは少し考えを改めていただいて、やはり周辺との連携ですとか、どういう手続き段取りでこういうものが作られてきたのか。単に入札で業者さんが出来上がったものを、これがいいんだということなのか。どういう風に地域と連携・コミュニケーション・有識者の意見が取り込まれてきたのか、経過とか。そういうことも行われて、かつ説明を受ける必要がある。と感じた次第です。</p>
毛利委員	<p>今の説明ありがとうございました。私は知らなかったことがたくさん出てきて。ライトアップ自体はすごく大事なことから、私達も進めてほしいとずっと前から思っていたのですが、実はライトアップのアンケート調査で、良くなったのは95%と書いてありました。この5年間で城下町の町屋等が200軒ほど解体されました。その跡に高層マンションが出来始めて、従来50mという、天守閣の石垣で一応天守閣が見えるようにと指導されていたのが、いつの間にかなし崩し的に55mということになって、さらに場所によってはそれ以上の所も認めているようですが、私達はこの熊本城が城下町、少なくとも城域、城下町から見えるシンボルとしての熊本城が、街の人たちにも本当に近いものになってほしいという意味で、夜間のライトアップというものは今日見せていただきました。視点場から見て</p>

	<p>おられるので、できましたらその視点場の表・位置図を出していただいて、歩いてみたいと思います。このライトアップをして、新しくできたマンションの上から見ると確かにいいんですが、その近くにある所から見ると逆に、まったく見えなくなってしまうところもあります。眺望のイメージ図を出すときに、どういう判定基準でつくられたのか、みなさんが歩いたとさっき言われたので、きちんと歩いておられるだろうと思いますけど、私達も毎日歩いていますので、そういう視点場、熊本城が見える場所についてもある程度オーソライズして（公認されて）作られたほうがいいのかと思います。建築指導課の指導も越えて、城下町と熊本城が一体化していると、今まで以上に熊本城が完成して、第3弾の公開がされますので、そういう意味では地域との一体感をしっかり持ってもらいたいと思います。</p>
伊東(龍)委員長	<p>先ほど、西嶋委員からもご意見がありました。これについて関連するご質問等がありますか。</p>
山尾委員	<p>さきほど説明がありました光のマスタープランとこれに関する資料を提示というか、委員の方に配付は出来ますか。ある程度内容が分かった方がいいような気がします。</p> <p>もう一点アンケートがあるんですけど、どのような方がここに参加されて、どのような人にアンケートをとったのか。もう少しその辺もし分かれば教えていただければと思います。</p>
事務局	<p>マスタープランそのものは別の部署で作っておりまして、私達もマスタープランを策定中の時点で、天守閣の方の既存のライトアップの改修をいつ頃やりたいか、という想定もございましたので、マスタープランを作るのと同時並行で、検討のライトアップを進めたいとのお話をさせていただいていました。マスタープランを踏襲する形のデザインにしていきたいという所で、先ほど、どういった連携をとられたかというお話がございましたけれど、マスタープランがまだ途中の段階から私共もどういったデザインコードになるのか。どういった考え方でまとまっていくのかという話で進めてきたところでございます。マスタープランとそれを踏まえた熊本城のライトアップの説明をいっぺんにやっしまいましたのでわかりづらいところがあったかもしれませんが、マスタープランそのものの説明だけで相当なボリュームになりますのと、私共の熊本城総合事務所から詳細な取り組みまで説明するのは、なかなか厳しいかなと認識しています。ですので、今日は熊本城に特に関わるポイントを踏まえ</p>

	<p>てご説明いたしましたのが今日の話の流れとなります。</p> <p>さきほど山尾委員から資料を手元の方ということでございましたので、委員会終了後にお渡ししまして、それを見ていただいでご質問や、もうちょっと説明が必要ということであればご対応させていただければありがたいと思っています。</p> <p>それからアンケートにつきましては、実際見ないとなかなかわからない所がございましたので、夜間公開にたくさんの皆様においでいただきましたので、現地にスタッフの職員が夜までおりまして、来城なされた方にアンケートをとらせていただきました。詳細は担当の方から説明いたします。</p> <p>夜にアンケートをとらないといけなかったのも、記入制ではなかなか実施しづらかったのも、口頭で確認させていただいたのと、スライドにありますように、マグネット式で街頭アンケートの形で、いい・わるいの二択で貼っていただいたうえで、口頭でどちらから来られましたか、とか年齢など簡単なご質問をさせていただき、どう思いますか、と聞き取りをさせていただきました。</p> <p>内容に関しましては、良くなったというのが大方の意見で、そうでない意見というのは、白い色がいいです。色をつけない方がいいという意見もございました。</p>
山尾委員	来城された方は県内の方、市内の方がほとんどですか。
事務局	すべてに確認できたわけではないですが、当時は緊急事態宣言もありませんでしたので半々だったと思います。
伊東(龍)委員長	<p>これ非常に大きな問題という感じがします。熊本の中心にある、熊本のシンボルをライトアップするんですけども、単純にいい事ばかりだろうかという疑問もあるわけですね。タイムシークエンスだけとらえても、何時から何時までライトアップするのですか。明け方の光は何時ごろになるのか、一晩中やっているのか、とか。それから毛利委員からも、少し高層の建物ができるかもしれないという話もありましたし、それはそれで心配なんですけど。むしろライトアップの光でまぶしくてしょうがないという、被害に近い意見も出やしないだろうか。そういうチェックもかける必要があり、大きな問題だという感じがしますので、マスタープランは見せていただきたい。わかるかどうかは別にして、そうしないと、これでいいですとは言えない。</p>
事務局	マスタープランにつきましては、すでにパブリックコメントが終了して出来上がっておりますので、私共は市の方針に外れないという

	<p>所で天守閣のライトアップを行って、しっかりと進めていきたい。今年やりたい一つの理由といたしましては、今年が櫓とか石垣の工事が少し落ち着く時期ですので、天守閣のライトアップ工事をその隙間で行いたい。もう一つあります。オリンピックもございますので、機運に合わせながら、イベントとして何かしら熊本城としてできることをやっていきたい面もございます。たしかに委員もおっしゃったように、しっかり時間をかけて検討していくのが理想と認識しておりますけれども、どうしても20年のタイムスケジュールの中でしっかりと、おさえていきたいところがありますので、マスタープランを外れた内容にはなっていないと自負をしています。</p>
西嶋委員	<p>誤解されているようで、私が申し上げているのは外れている、いないではなく、委員に理解できるような説明をなぜしていただけないのかを申し上げている。先ほど山尾委員からの発言の通り、2月中旬に光のマスタープランはアップされているわけだから、プリントして、何のために事前資料として我々に配付する作業をされているのか意味不明である。であれば事前資料として同封されていればいい話であり、我々が事前に見れば追加された検討が何なのかは一応理解できるが、本来なら資料を提示されるべきである。別に同時に進めてはいけない話と私は発言している訳ではなく、どういう事だったのか、なぜこういう物になったのかを明記して下さいと申し上げているだけである。だから委員に対する説明になっていない。個人的な話をするが、私はパブコメで景観計画があるわけだが、都市デザイン室に申し上げたが、上位計画があり、これだけ景観に関する事が、マスタープランで言及され具体化されているのであれば、上位計画との整合性はとれているのかと。ましてや上位計画が何年も手直しされてない中でこれを作成されるという事は、急いで上位計画の手直しと整合性をしなくてははいけませんねと、都市デザイン室に申し上げている。パブコメを通じて。ですからそういう意味も含め、先ほど委員長が発言された通り、非常に重要な問題を孕んでいるので、都市デザイン室におまかせではなく、熊本城の関係する所で、この景観のあり方とか夜間照明のあり方とか、私自体もライトアップしていただくのは賛成なので、毛利委員と同じで。もう一度ちゃんと説明しっかりと検討いただき、委員や他の方の意見を反映されてより良いものになる仕組み、提示いただきたい。</p>
事務局	<p>大変失礼しました。一旦マスタープランと私どもの改修計画と詳しい資料を準備しますので、一度お目通しいただき私どもの方でご質</p>

	<p>問やご意見について一通り皆さま個人個人からお聞かせいただく方が、次の委員会となると時間が空きますので、一旦皆さまに内容を理解いただけるように努めていきたいと思っています。</p>
山田委員	<p>色温度について。マスタープランに即してお城の方も天守閣と長堀の照明の色温度を考えておられると。お城の方は白っぽい色温度が高いような照明。個人的に長堀が色温度が低くて、街に近いからマスタープランに即すとそういう色となる。理屈としてはわかるが、お城の一面同じ構造物として、長堀だけ温かみのある色に。先ほど映像に出ていたが、少々個人的に違和感がある。お城は通しでといった考え方もあり、こういう考えも本来あっていいと思う。先ほどアンケートを実施されていたが、長堀についてはアンケートを実施されるのか。取り方について。まず白っぽい色にする。次赤っぽい色にするといった方法なのか。今いらっしゃる方に今みた照明は前よりいいか悪いかといった方法なのか。前の照明を覚えている方はどれほどいるのか。アンケートの実施方法をこれまでどのようにされていたのか分からないが、おそらく実験だからおそらく両方色を出せるのか。LED色調整が可能で、その場で2種類並べて、いくつかプランを見ていただき意見を聞くとか、その辺をお聞かせ願いたい。</p>
事務局	<p>長堀はこれからなので、アンケートの部分については、これからということで、お答えは難しいと思います。アンケートの取り方については、天守閣の場合は照明なので前後の比較がないと、ご意見がなかなかいただけないと考えている。実は改修後のライトアップを天守閣は光らせていて、写真でいままではこういう形でしたと説明してご意見をいただいた。そんな取り方をしている。なかなか自由にできないところもあり、実験なのでなかなか難しく、比較も前の写真でさせていただいたのが、今回のアンケートです。</p>
山田委員	<p>いま県立美術館の照明もLEDが入ってきて、タブレットで全部照明の色温度が変えられる。明るさの照度も変えられるし、色温度も変えられる。パネルでやるとそれしかない。パネルか写真を見せるしかない。おそらく目の前のある物の方が良く見えるのかなという気はします。これは提案ですけれども、一灯でもいいから色温度を変えられるようにして、どっちのほうがいいですか、というやり方ができると、いいのかなと思いました。</p>
伊東（麗）委員	<p>既存のライトアップと次に使うライトアップは光量とか明るさが違うものなのか。</p>

事務局	明るさに関してはさほど変わらない。むしろ今の方が器具自体としては光量としては大きいものになっている。ただ今の水銀灯というのは結構な範囲で広がりをもっているので、LEDは直進性が強くて光量を何個か組み合わせて、天守閣を表現しようとしているのが今の計画になる。
伊東（麗）委員	私の場合お城にある動植物が、24時間照射されると影響が出てくる事があったのが気になったのですが、今とそんなに変わらないという事であれば、大丈夫かなと思う。
事務局	24時間照射はしません。しっかりと夜には切ります。朝日という話が残るが、少し早い時間とか早朝に照らせていただく。断続的です。
西嶋委員	新たな景観を作り出すという事ですので、熊本城の利活用をテーマに置いて、非常に重要な作業だと思う。一回分の委員会では足りない。その位の事をやる必要があると個人的には思う。思い出していただくと、熊本城天守閣展示替えについて、突然委員会に「このように展示したい」と提案があった。委員からは「天守閣の展示替えをするのはいいけど、市の博物館もあり、わくわく座もあり、県立美術館、県伝統工芸館もある地域で、かつ天守閣は入場料を払った人しか入れない場所で、どういう風に熊本城の歴史を体験していただく全体計画があって、その中で今回天守閣はどういう展示替えをしたいという説明があるべきではないですか」と申し上げた。そういう検討を丁寧にその後していただいた。それからアンケートに関しても、JT・NHK跡地の事で、アンケートされるのはいいが、ありきのアンケートではないかと言いかたで、前回委員から苦言を呈されている。その時アンケートをされるのであれば、なぜ我々に事前相談はないのですか。こういう市民の声を聞こうと思うけど、どういう聞き方があるだろうか、とか。我々に対する意見聴取とか、そういう時に現場に我々を呼んでいただくとか。そういう事はまったく無しにいつの間にかされたアンケートの提示をされるから、前回の事を思い出すわけです。文化市民局になったのに結局やっぱり看板を替えて、最初の会合の井上局長があれだけ力をいれてご説明されたのが、実体とずいぶん乖離している感じになってきている。もう少し今回のテーマは重要なテーマなので 景観も含めて、毛利委員の発言にあったように、しっかり委員に説明をして。時間が無い場合は、事前にこういう風に言っていただければいいと思う。事後ですよ、説明があるのは。時間が無いからどうしようどうしようという事

	後ですよ。去年の秋の時点で分かっている話であったなら、こういう事情で並行して検討しなければいけないような状況であると説明されるべきではないか。我々が信頼されていないから、そういう説明が途中で抜かれ飛ばされて、結果だけを伝えられる事になっているのが現状ですよ。もう少し丁寧な運営を事務局にさせていただきたい。
廣瀬委員	山田委員の意見にもあるように、長堀のライトアップは山田委員と同じ意見だ。長堀は高さでいくとシティースケールと同じ高さだが、熊本城は街とは違うものという風に、ライトアップすることを考えるのであれば、街とは違う色にした方がいいと思う。天守閣の上の方と同じ明るさにする必要は無いが、シティースケールの色味ももうちょっと白っぽく天守と近い色にしたほうが、お城を浮かび上がらせる。高さは天守と違うかもしれないが、浮かび上がらせるような効果はあるんじゃないか。
伊東(龍)委員長	その辺りになると非常に難しくなる。資料配付を行った上で、もう一度理解いただいた上でやっていただく事をお願いする。
河島委員	街灯は、冬場はオレンジ色、夏場は白色と変化させている。冬場は暖かい色にしよう、夏場は暑いから青色。先ほどの議論では時間帯での変化としている。季節感で変化させているのが街灯である。参考までに発言しました。

次第 3	報告
報告 3	熊本城特別公開等について
事務局	資料 4 - 1 説明
伊東(龍)委員長	委員から質問・意見等があれば意見をお願いします。
服部委員	以前にも説明があったと思うが、空中回廊の現状変更はどんな形で許可を取っているのか。「あれは仮設物」とか「何年何月まで」とかあるのか。
事務局	復旧基本計画は 2037 年度で完了しますので、2038 年撤去という事で許可をいただいているので、2038 年度までの仮設物としていただいたという所である。
毛利委員	資料 4 - 1 の説明はいただいたが、資料 4 - 2 の説明はされるのか。
事務局	資料 4 - 2 の説明
廣瀬委員	博物館が熊本城の中に入ったような雰囲気だなと感じました。とても素晴らしいと思うし、中に入ったら 1 日では回りきれないボリュームがあるかと思う。先ほど説明の通り、入場者数ですがコロナ禍もある

	<p>と思うし、不透明な所があるかと思えます。今後もできるだけ熊本城にご来場いただける人数を伸ばす事も考えると、今の時代 SNS とか周知が大事になってくる。先日ご来場された方で、聞かれた事が、「正面はどこですか」聞かれたのですが、携帯を持参されていましてのでカメラで撮ろうと思って、おそらく何処の位置から写真を撮った方がいいのかとの意図での質問だったんですけど、もちろん個人の感性で「ここから撮影した方がいい」などあるかと思うが、何ヶ所かおすすめの写真スポットみたいな紹介があればいいと思うし、アプリなどQRコードを使用したりとか、色々説明があったりとかしますので、もし可能であればQRコードを読み取る事で、カメラ機能が作動し、写真を撮影する事で例えば「何月何日に熊本城に来ました」みたいなフレームが出てきたりとか。例えば自身のブログ等に発信したりする事で広告みたいに広がるのいいのではないかと感じた。予算等難しい所はあると思うが、以前他のお城に行った時「何月何日何々城に来ました」みたいな。加藤神社の方に、写真撮影時のツールがあればいいのではないかと。自分たちのインスタにアップしやすい環境をぜひお願いしたい。</p>
--	---

次第3	報告
報告4	令和元年度・令和2年度の委員会について
事務局	資料5 説明
伊東(龍)委員長	委員から質問・意見等があれば意見をお願いします。
委員	(発言なし)

次第4	その他
-----	-----

次第5	連絡事項
-----	------

次第6	閉会
網田所長	<p>本日は年度末でご多忙の中、委員会にご出席いただきありがとうございました。当委員会では委員の任期が2年ございまして、今月までが区切りとなっております。この2年は復旧事業を本格的に進めながら、また特別公開を開始すること。これが我々にとりまして大きな取り組みであったと思っておりますが、伊東委員長はじめ委員の皆様から多くのご指導・ご助言いただきまして、長堀復旧に続いて天守閣の工事も無事に終え、来月の公開準備を進めているところでございま</p>

	<p>す。来年度も特別公開の実施や千葉城地区の整備計画、樹木の管理計画の検討などにとり組んでまいります。また本日ご意見いただきましたように、この委員会にかかる必要な事案を事務局もよく考えまして、委員会運営を適切に務めてまいりますので、引き続き熊本城保存活用に対しまして、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。</p>
--	---